



【講演する三四六さん 2頁】

目次

● 第3回飯田市立病院市民医療フォーラム「三四六講演会」	2	● お知らせ	6
● ism-Link在宅医療連携フォーラム	3	寄附をいただきました	
● ネットわーく		乳がんのリンパ節転移診断の装置(OSNA法)を導入しました	
尾地内科呼吸器科クリニック	4	● 認定看護師の紹介	6
外来医療体制について	5	● 情報カプセル	7
● 医療機能評価の更新認定を受けました	4~5	薬を飲むタイミング	
		● 職場紹介	7
		ゆうゆう①3階Aチーム	
		● 新任医師の紹介	8

飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

飯田市立病院 基本方針

- 1 私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- 2 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、患者さんの立場に立った医療を実践します
- 3 私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と、職員が誇りややりがいの持てる職場づくりを行います
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意をもって医療を実践します

## 第3回飯田市立病院市民医療フォーラム

# 「三四六講演会」

座談会 『地域のがん医療を考える』  
座長 金子源吾 医師（飯田市立病院院長）  
参加者 三四六 さん（タレント）  
後藤 暁 先生（後藤医院院長（高森町））  
新宮 聖士 医師（飯田市立病院がん診療・緩和ケアセンター長）



3月21日（春分の日（土））、第3回飯田市立病院市民医療フォーラム「三四六講演会」を開催しました。第1部は、テレビ・ラジオ番組で活躍されている三四六さんから、「がんに向き合うー「みんなへの応援歌、人生への応援歌」と題して、講演をしていただきました。三四六さんは、タレント活動とは別に、がんに関わるテレビ番組のナビゲーターも務めていて、そこでの様々なまた豊かな体験をもとに、「がん」や「がん医療」、そして「がんに向き合って一生懸命生きている人々」に対する思いや考えを、また、命について、その「命への向き合い方」を熱く語ってくれました。



第2部では、「地域のがん医療を考える」と題して座談会を行いました。金子源吾院長が座長となり、地域のがん医療の現状、将来展望、課題について、高森町の後藤医院院長の後藤暁先生からは地域医療を支える医療従事者としての立場から、がん診療・緩和ケアセンター長の後藤聖士先生からは地域がん診療連携拠点病院の立場から、三四六さんには一市民の立場からこの座談会に加わっていただき、座談会を進めました。内容的には難しい部分もありましたが、三四六さんの巧みな語り口により、これからのがん医療を支える「緩和ケア」、「かかりつけ医」、「がん相談支援センター」、「地域連携」について、理解を深めていただけたのではないかと思います。

参加された多くの皆様方から、「三四六さんの話に感動した。」「また来年も三四六さんの話を聴きたい。」との感想が寄せられました。



# 飯田下伊那診療情報連携システム[イズムリンク]在宅医療連携フォーラム

医療関係中心に200名を超える参加

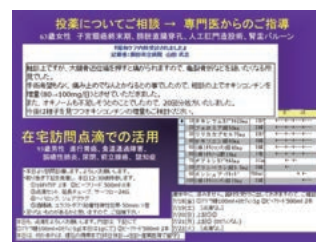
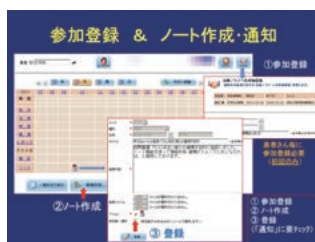
3月5日(木) 午後7時 飯田市立病院 新講義室

システム導入から5年を経過する節目の年を迎え、これまでの利用実績の報告と、今後の更なる利用拡大に向けたシンポジウムを開催しました。当日は、医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、介護事業所職員、行政職員など、200名を超える参加をいただきました。

第一部 [講演会] 総司会 山田武志先生(飯田市立病院緩和ケア内科)

## ●「患者さんの希望に沿った医療」の実現

建石徹先生(すきがら医院)は、在宅緩和ケアにおける疼痛管理<sup>とうつう</sup>について、実際の在宅看取りの現場でイズムリンクが有用であった点について解説されました。特に訪問看護師や理学療法士との「ノート機能」と呼ばれる情報共有ツールを使った連携について、従来の電話等による報告に比べ、大幅なスピードアップと内容の質の向上が図られた点や、コメントが記録として保存されることで、患者さんの日々の変化が手に取るようにわかる点が有用であると述べられました。



## ●キーワードは「24時間365日」の在宅ケア

後藤暁先生(高森町 後藤医院)は、下伊那郡北部地区における在宅医療の取り組み事例を挙げながら、イズムリンクの有用性がどこにあるかについて解説されました。キーワードは「24時間365日」。地域医療の中心が在宅へと移行する中、在宅看取りを担う診療所医師は、より効率的で質の高い医療をこれまで以上に多くの患者さんに提供していくことが期待されており、そうした際の頼れる情報連携・共有ツールとして十分に活用できることを強調されました。



第二部 [シンポジウム] 座長 中島貞男先生(中島医院 飯田医師会副会長)

「地域医療連携のICT化と地域包括ケアシステムを視野に入れた医療介護の情報共有を考える」

## ●課題を解決し、地域全体へ拡大を

原政博先生(新野へき地診療所)が、地域包括ケアシステムの概要説明と現段階における地域の取り組み状況を報告した後、シンポジストの4名の先生を中心に会場全体での意見交換会となりました。診療所に比べ病院での利用が思ったように進まない点、機密な個人情報を安全に取り扱うことの難しさなど、課題についても前向きな議論が活発に行われました。また、「イズムリンクを知らない住民が多いのではないか。地域全体への広報を積極的に行ってほしい」との意見もありました。



今後は、飯田医師会や行政の協力を得ながら、積極的に住民への広報活動を行う予定です。イズムリンクへの一層のご理解とご協力をお願い致します。



## 尾地内科呼吸器科クリニック

(高森町山吹)



### 患者さんに親しまれ信頼されるクリニックを目指して

尾地内科呼吸器科クリニック院長 尾地 優

私は飯田市の出身で、杏林大学卒業後に同大学第一内科（呼吸器内科）に入局し、結核研究所付属病院（現：結核予防会複十字病院）、東京都立府中病院（現：東京都多摩総合医療センター）など地域中核病院の呼吸器科・結核科に勤務しました。その後大学で医学部助手になり、抗菌化学療法に関する研究を行うとともに後輩医師の指導に従事しました。平成17年に地元へ帰省し下伊那厚生病院に勤務。平成19年に高森町で当クリニックを開業いたしました。

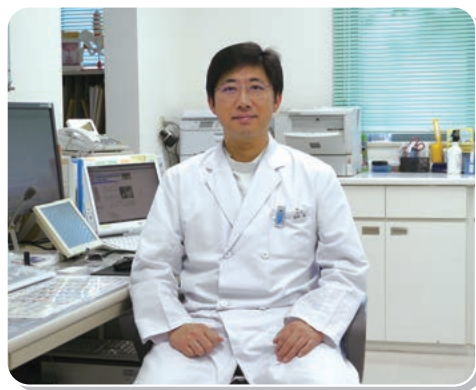
呼吸器内科医としての経験を生かして、気管支喘息、肺気腫、

慢性呼吸不全、睡眠時無呼吸症候群、肺炎、肺結核などの呼吸器疾患を中心に診療を行っています。

また、糖尿病、高血圧症、高脂血症などの生活習慣病や、胃潰瘍、逆流性食道炎などの消化器系疾患をはじめとした一般内科診療も行っています。

当クリニックの特徴としては、医療機器の充実にあります。マルチスライスCT、呼気一酸化窒素濃度測定器（NO検査）、内視鏡、血液検査装置など多数の医療機器を設置し、早期診断・早期治療を目指しています。専門性の高

い疾患については飯田市立病院をはじめとする病医院への紹介や連携を行っています。患者さんの為、よりよい医療が提供できるように頑張っていきますので今後とも宜しくお願いします。



尾地先生

所在地 〒399-3101 下伊那郡高森町山吹4534- 1

☎0265-35-6311

診療科目 内科・呼吸器内科

診療時間 9:00～12:00 / 15:00～18:00

※土曜日午後は14:00～17:00

休診日 水曜日 日曜日 祝日

往診 可

駐車場 あり



## 医療機能評価の更新認定を受けました

公益財団法人日本医療機能評価機構が行う機能評価は、質の高い医療を効率的に提供するために、第三者による病院の評価を行うものです。この評価機構は国内で幅広く認知された第三者機関であり、認定された施設は、現在全国で2,270病院となっています。当院では、1999年に第1回目の機能評価を受審し認定を受け、4回目の更新のための受審となりました。

昨年11月13日と14日の2日間受審し、このたび2月6日付けで認定証の交付を受けました。

今回から、審査項目が大幅に見直され、今までは全ての病院が同一の評価項目だったものが、病院機能に応じた評価項目となりました。審査方法も一つ一つの項目ができているかチェックする方法から、初診から退院までの一連の診療を評価され、病院機能が適切に発揮できているかをチェックする方法になりました。普段何気なく

## 登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。



## 外来診療体制について



すでに、広報いいだ4月15日号にも掲載しましたとおり、飯田市立病院は、地域医療支援病院として地域の医療機関との連携や役割分担を進めるため、外来診療では紹介患者さんを優先的に診療しています。専門的な検査や手術、治療に力を注いでいくために、**産婦人科と耳鼻咽喉科では原則として紹介患者さんのみの診療**をしていますが、**5月1日から皮膚科も同様の取り扱い**とさせていただきます。

他の診療科につきましても、今後の状況をみながら順次こうした診療体制に変更したいと思いますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、緊急を要する場合には、従来通り診療させていただきます。(4月30日現在)

### ◆ 体調の変化に気づいたら先ずお近くの「かかりつけ医」へ

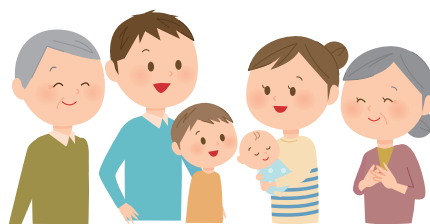


かかりつけ医は、私たちにとって最も頼れる身近なお医者さんです。日々の体調の変化にも親切に対応してくれますし、過去の受診歴などを見ながら総合的な診療をしてくれるため、診療科が専門的に細分化されている市立病院などに比べて、初期診療に向いていると言えます。また、平日の仕事帰りの時間帯や、土曜日午前中なども診療してくれるため、ライフスタイルに合わせた受診が可能です。

### ◆ 私たち一人一人が地域医療を守る「当事者」という意識を

飯田下伊那地域は、全国でも30医療圏しかない「医療を提供しているが医療資源が少ない地域」として厚生労働省の指定を受けています。住み慣れた地域で安心安全な医療を受けていくためにも、限られた医療資源を私たち一人一人が大切に守っていくという意識を改めて持つことが必要なのではないでしょうか。

地域内のそれぞれの医療機関が持つ役割と機能をよく理解し、症状に応じた適切な医療機関へかかる習慣を身につけましょう。



行っている行動でも、きちんと意味があるということを今一度再確認する良い機会となりました。

このたび、機能評価の認定をいただいたことは、国内でも優れた病院のひとつとして全国に認知されたこととなります。また同時に、認定病院としての責任と、さらに一層の努力の必要性を課せられたことにもなります。職員一同、地域の皆さんの健康と快適な生活を支えるために、より一層精進する所存ですので、よろしくお願いいたします。



## お知らせ

### 医療機器充実のためのご寄附をいただきました

駒ヶ根市の医療法人聖和会から寄附金をいただきました。毎週木曜日の肝臓外来を担当していただいている山浦高裕先生が同法人の理事長であり、山浦先生は過去に当院へ常勤で勤務されたこともあり、当院の発展のためにご寄附をいただいたものです。山浦先生には感謝を申し上げ、当院の医療機器等の購入に充てさせていただくこととしました。

ご寄附いただいた山浦先生(中央)



### 乳がんのリンパ節転移診断の装置（OSNA法）を導入しました

乳がんの手術で、「がん」からのリンパの流れを最初に受けるリンパ節（センチネルリンパ節）の中のがん細胞が転移しているかを手術中に調べる新しい検査装置（OSNA法；オスナ）を導入しました。専用の装置と試薬を用いることにより、遺伝子学的に転移の有無につき、高い診断が可能となります。センチネルリンパ節に転移があれば、リンパ節を広範囲にわたって切除する手術（郭清術）を省略することができます。乳がんの手術は年間約80例あり、南信で初となるこの装置の導入は、多くの乳がん患者さんの手術に効果が期待されます。



## 認定看護師の紹介 その6

認定看護師とは、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる看護師のことです。患者さんの療養生活の向上と疾病を抱えながらも在宅でその人らしい生活が送れるために、専門的知識をもつ認定看護師を中心とし、フットケア、ストーマ管理、褥瘡<sup>じよくそう</sup>予防、リンパ浮腫ケア、緩和ケア等を行っています。当院の認定看護師を紹介します。

### 感染管理認定看護師

感染管理認定看護師は、病院を訪れる外来患者さんや入院患者さん、患者さんのご家族やお見舞いの方、病院に勤める医療従事者、医療事務員など病院関係者を対象として「感染予防」と「感染拡大の回避」のために継続的な現場介入を行う看護師です。

当院では感染対策に関する専門家(医師・薬剤師・臨床検査技師・感染管理認定看護師など)で構成されたチームが中心となり、院内すべての医療従事者と感染対策に取り組んでいます。また院外の活動では、医療施設、介護施設、在宅ケアなど医療行為を行う場所への教育や相談対応、啓発活動など広範囲となっています。病院での感染対策の一例として、インフルエンザ流行時期に病院に来院される方への「マスク着用のお願い」について院内掲示や広報をしています。これは入院患者さんへの感染予防と来院された方同士の感染から家庭などインフルエンザを持ち帰らないことによる地域への感染拡大の予防となります。ご協力をお願いします。





## 薬を飲むタイミング

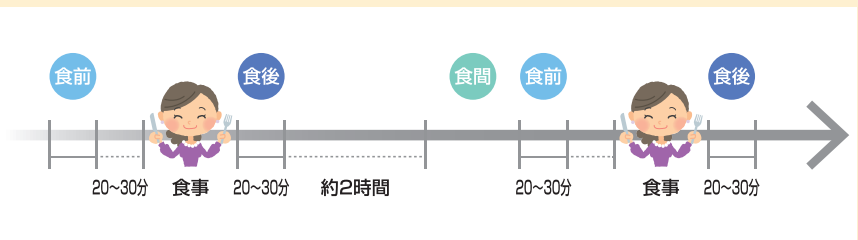
病院から処方された薬を正しい服用方法で飲んでいますか？食前・食間・食後など、決められた時間を守りましょう。

**食前** 食事の20～30分前のことです。食べ物や胃酸の影響を受けたくない薬や、食事で高くなる血糖値を下げるための糖尿病の薬などは、食前に飲むことが多くなります。また、胃の調子を整える食欲増進剤や、食べたあとの吐き気を抑える薬などは食前に飲むと効果的です。

**食間** 食事と食事の間という意味で、食事の最中ではありません。食事を終わってから約2時間後が目安です。空腹の状態飲むと吸収が良くなる薬や、胃の粘膜を保護するための薬などは食間に飲みます。

**食後** 食事を終わって20～30分後までのことです。胃の中に食べ物が残っているので、胃への刺激が少なくなります。食後の薬は飲み薬の中で最も多いタイプです。主に食べ物と一緒にの方が吸収が良くなる薬や、空腹時に飲むと胃を荒らす薬などは食後に飲みます。

またこの他に、頓服(とんぷく)と言う飲み方があります。食後などの決まったタイミングではなく、「痛い時」、「熱がある時」、「発作の時」など、症状がある時に薬を飲むことです。薬の種類によって、1日何回まで、どのくらい間隔をあけるのが異なりますので注意しましょう。



### シリーズ ● 職場紹介 ● その44

### 【ゆうゆう①3階Aチームの紹介】

ゆうゆう3階Aチームはユニット方式のケアをしています。ひまわり・たんぼぼの二つのユニットで11名のスタッフが介護をしています。ユニットケアは、入所者を10人前後の単位、空間に分けて介護する方式です。比較的小さなスペースで生活することにより、入所者同士も馴染みとなり、職員も一人ひとりの利用者の生活に目を配ることができ、訴えにも気付きやすいという利点があります。

ご飯はユニットのキッチンで炊いています。時にはご希望の食事を一緒に作ったりします。また、利用者さんのこれまでの生活歴を知り、

その方の生活に合わせた日課表をもとにケアを行うことで、ユニットは笑顔にあふれ会話がはずんでいます。

スタッフ一同、家庭的ななじみのある雰囲気の中で、「共に暮らす人」としての関わりを深め、安全で生活し易い場所づくりを目指しています。



## お知らせ

### 紹介患者さん専用受付窓口設置について

外来診療体制の見直しに伴い、「紹介患者さん専用受付窓口」を設置します。サービス開始は6月を予定しています。地域医療支援病院としてより患者さんが利用しやすい受付窓口体制を目指していきますので、ご理解とご協力をお願いします。





# 新任医師の紹介

平成27年1月～4月1日



**産婦人科**  
**藤井 由起子**  
(ふじい ゆきこ)  
平成20年卒業  
平成27年2月1日着任  
前勤務病院  
信大病院



**産婦人科**  
**曾根原 健太**  
(そねはら けんた)  
平成23年卒業  
平成27年2月1日着任  
前勤務病院  
信大病院



**産婦人科**  
**橋 涼太**  
(たかはなり りょうた)  
平成14年卒業  
平成27年4月1日着任  
前勤務病院  
信大病院



**泌尿器科**  
**中藤 亮**  
(ながとう りょう)  
平成17年卒業  
平成27年4月1日着任  
前勤務病院  
山梨県立中央病院



**新生児科**  
**島 庸介**  
(しま ようすけ)  
平成18年卒業  
平成27年4月1日着任  
前勤務病院  
上田医療センター



**消化器内科**  
**大工原 誠一**  
(たいくはら せいいち)  
平成19年卒業  
平成27年4月1日着任  
前勤務病院  
信大病院



**循環器内科**  
**上島 彩子**  
(かみじま あやこ)  
平成19年卒業  
平成27年4月1日着任  
前勤務病院  
国立循環器病センター



**救急科**  
**市川 通太郎**  
(いちかわ みちたろう)  
平成20年卒業  
平成27年4月1日着任  
前勤務病院  
信大病院



**放射線診断科**  
**岡島 幸紀**  
(おかじま ゆきのり)  
平成22年卒業  
平成27年4月1日着任  
前勤務病院  
長野市民病院



**消化器内科**  
**芦原 典宏**  
(あしはら のりひろ)  
平成24年卒業  
平成27年4月1日着任  
前勤務病院  
信大病院



**歯科口腔外科**  
**篠原 潤**  
(しのはら じゅん)  
平成25年卒業  
平成27年4月1日着任  
前勤務病院  
飯田市立病院(研修医)



**初期研修医**  
**小山 勇介**  
(こやま ゆうすけ)  
平成27年卒業  
平成27年4月1日着任



**初期研修医**  
**椎名 健太**  
(しいな けんた)  
平成27年卒業  
平成27年4月1日着任



**初期研修医**  
**千野 辰憲**  
(ちの たつり)  
平成27年卒業  
平成27年4月1日着任



**初期研修医**  
**長井 友邦**  
(ながい とむくに)  
平成27年卒業  
平成27年4月1日着任



**初期研修医**  
**橋上 遣太**  
(はしがみ けんた)  
平成27年卒業  
平成27年4月1日着任



**初期研修医**  
**星 大輔**  
(ほし だいすけ)  
平成27年卒業  
平成27年4月1日着任



**初期研修医**  
**宮下 尚輝**  
(みやした なおき)  
平成27年卒業  
平成27年4月1日着任



**初期研修医 歯科**  
**小田切 宏樹**  
(おたぎり ひろき)  
平成27年卒業  
平成27年4月1日着任

## あ と が き

「春はあけぼの」。ご存じ枕草子の一節ですが、朝晩の冷え込みがすっかり緩んで、寒さで布団から出るのもおっくうではない季節になりました。いい陽気になりましたが、「春眠暁を覚えず」とならず、「あけぼの」の風情を感じられるくらいの余裕を持ちたいものです。

編集委員 関島徹信

近くの「かかりつけ医」を持ちましょう。市立病院へ初診で来院される場合、かかりつけ医からの紹介による事前予約があると待ち時間が短縮されます。